

1

魅力ある給食づくりを目指し 新給食センターを整備

School Lunch

昭和46年から学校給食を提供してきた現在の給食センターは、建設からすでに40年が経ち、老朽化した施設の建て替えを早急に行う必要があります。今回、民間の資金や経営能力を活用して、コスト削減や質の高いサービスの提供が期待できるPFI（プライベートファイナンス・イニシアティブ）手法を導入し、新給食センターの整備に取り組むことを決定しました。

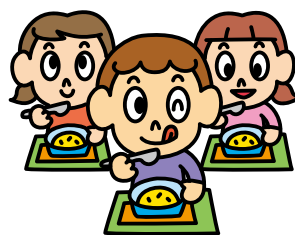
●PFIによる給食の長所

PFI（プライベートファイナンス・イニシアティブ）とは、国や自治体、公共施設の建設・維持管理・運営までの全てや一部を民間に委ねる手法のことです。すでに田原市では、ごみ処理施設『炭生館』の整備・運営を、この手法で実施しています。

今回、給食センターの整備・運営に民間経営のノウハウを導入することにより、バイキング給食や一流シェフ監修の給食など多彩な給食を提供したり、新給食センターの炊きたて

ご飯や温かい

給食を提供したりして、子どもたちのころから食べ物に興味を持つことができる「魅力ある給食センター」の整備を目指します。そのほかにも、「食育の推進」「地産地消」「環境への配慮」などの取り組みを考えています。



《新給食センターの概要》

予定地 赤羽根町東山(旧成章高校赤羽根校舎のグラウンド)

調理能力 1日当たり9000食

提供対象 市内の全中学校・小学校、保育園、幼稚園の50施設

《今後のスケジュール》

事業者の公募など 平成23年1月

設計・建設など 平成23年12月～平成26年1月

供用開始 平成26年4月

▼教育総務課 ☎23局3530
✉k-pfi@city.tahara.aichi.jp

2

平成22年度住生活月間功労者 国土交通大臣賞 受賞

Receive a Prize



●表彰式の様子

国の主催で毎年10月に行われている「住生活月間」事業の功労者表彰で、田原市が国土交通大臣賞を受賞しました。賞の対象となったのは、今年3月に完成し

た市営緑ヶ丘住宅「地域コミュニティとの協働による計画や実施」「環境・景観への配慮」「少子高齢化に配慮した設備」などが評価されました。表彰式は10月8日（金）に、高円宮妃久子殿下ご臨席のもと、名古屋市吹上ホールにて執り行われました。

▼建築課 ☎23局3527
✉kentiku@city.tahara.aichi.jp

3

田原市ホームページ 画像ダウンロードサービス開始

Photo Service

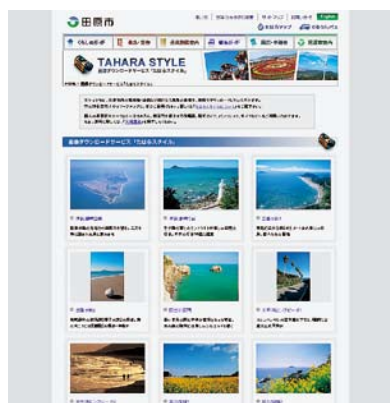
●リクエストも受け付け

田原市の景勝地や美しい自然景観の画像を、無料でダウンロードできるサービスを開始しました。詳しくはホームページをご覧ください。

▼広報秘書課 ☎22局0138

✉koho@city.tahara.aichi.jp

http://www.city.tahara.aichi.jp



●市のPRのためにもぜひご活用を